

令和4年度事業報告書

～目次～

第1 男女共同参画センターの概要	P. 1～2
第2 令和4年度事業の実施状況	P. 3～4
第3 実績報告	P. 5～15
資料編 る～ぷる通信	P. 16～31

令和5年3月
行橋市総合政策課

第1 男女共同参画センターの概要

1 設置目的

男女共同参画社会の実現をめざして、男女の自立と女性問題の解決を目指し市民の主体的な活動と、エンパワメントを支援し交流の場を提供すると共に、条例に基づき男女共同参画プラン推進の拠点とする。

2 設立経緯と変遷

- 平成8年 ・秘書企画課に「女性相談室」を設置
行橋女性会議(市民団体)発足(現 行橋男女共同参画ネット)
- 平成9年 ・女性に関する市民意識調査実施
- 平成11年 ・第一次行橋市男女共同参画プラン策定
- 平成14年 ・女性相談員(DV専門相談)配置
- 平成15年 ・男女共同参画に関する意識調査実施
- 平成16年 ・「行橋市男女共同参画を推進する条例」施行
- 平成17年 ・行橋市男女共同参画センター“る～ぷる”オープン(H17.6.23)
男女共同参画都市宣言
第二次行橋市男女共同参画プラン策定
- 平成18年 ・女性人材バンク設置
- 平成22年 ・第二次行橋市男女共同参画プラン 後期計画策定
- 平成26年 ・男女共同参画に関する市民意識調査実施
- 平成27年 ・第三次行橋市男女共同参画プラン策定
- 平成28年 ・行橋市男女共同参画センター“る～ぷる”移転(旧行橋京都休日急患センター1階)
- 令和元年 ・男女共同参画に関する市民意識調査実施
- 令和2年 ・第三次行橋市男女共同参画プラン策定 後期計画策定
- 令和3年 ・行橋市男女共同参画センター“る～ぷる”移転(R3.3.8)(コスメイト行橋1階)

3 機能

女性問題の相談・男女共同参画の学習・研修、情報収集と提供、調査研究、市民活動支援等

4 施設概要

場所:コスメイト行橋1階 一部使用 約161平方メートル

部屋:研修室A・B【会議室】、交流(閲覧)スペース、託児室、事務室

5 開館

平日:月曜日から金曜日 8時30から17時まで(土日祝、年末年始休館)

6 職員 センター長1名、職員2名

7 事業

- ① 男女共同参画社会実現のための学習・啓発事業
- ② 男女共同参画情報の収集・提供及び調査研究事業
- ③ 男女共同参画に関わる市民活動団体の支援及び交流促進の場の提供
- ④ 女性問題に関する相談
- ⑤ その他男女共同参画社会実現のための活動支援

8 センターの使用について

- ① 研修室の利用については、センターの設置目的に応じて、「センター使用許可申請書」を7日前までに提出し、事前に使用申込みを行う。土・日・祝日の利用の場合は、使用する日の属する月の1か月前の1日(1日が閉館日の場合は翌開館日)までに申請書を提出する。
- ② 営利目的や特定の宗教、特定の政党の政治活動、受講料を徴収する講座や研修【資料代など実費負担は可】また、許可を受けなくて物品販売や宣伝その他これらに類似する行為、その他管理上の規則に従わない時。
- ③ 室内は禁煙、また火気は使用しないこと。

9 費用 研修室の使用は無料。ただし、市が認める共催事業等は減免とする。

10 愛称 “る～ぷる”(H17.8.24)〔公募により決定〕

「ループ(輪)」と「ピープル(人々)」をあわせた造語で、人々が輪になって手をつなぎ、お互いが思いやりの気持ちを持ち、明るいまちになるように、との願いが込められています。

11 シンボルマーク(H17.11.5)〔開設1周年記念に公募により決定〕

明日へ向かって羽ばたこうとする人々の姿を蝶に重ね、拠点を「コスモスの花」で表現し、多くの人々が、る～ぷるに集い、交流を深め、学び、エンパワーメントし、生きる力(自立)の源となる男女共同参画社会作りの大切な拠点になるように、との願いが込められています。



第2 令和4年度事業の実施状況

1 啓発イベント

(1)第17回る〜るフェスタ(P.5)

「男女共同参画推進月間」の6月に合わせて、講演会やパネルディスカッション、マルシェ等を実施。当日は、550名が参加した。

(2)第22回ゆくはし男女共同参画フェスティバル(後援事業)

行橋男女共同参画ネット(市民団体)が主催する、男女共同参画社会を実現するためのイベント。当日は、138名が参加した。

<p>開催日:令和4年9月10日(土) 13:30~16:00(開場 13:00) テーマ:「持続可能な社会を目指して ~かけがえのない今、そして未来へ~」 会場:コスメイト行橋 内容:映画上映「82年生まれ、キム・ジヨン」 パネル展示 後援:行橋市・行橋市教育委員会、 行橋市社会福祉協議会</p>	  
--	---

2 講座の開催

(1)公民館出前講座(P.6)

市民に身近な地域活動の場において、男女共同参画への理解・関心を持つことを目的とした講座。

令和2年度から市内11校区の住民を対象に講座を実施。令和4年度は、仲津公民館で実施した。

(2)市民企画講座(P.7~8)

市民自らが、男女共同参画に関する問題の解決や関心のあるテーマを企画し、市民意識の醸成を図ることを目的とした講座。

令和4年度は2団体より応募があり、講座を実施した。

(3)ワーク・ライフ・バランスセミナー(P.9)

市内企業等や子育て世代の方を対象とし、誰もが多様な働き方を選択でき、生活と仕事の調和を図ることの重要性を伝え、理解を深めるための講座。

(4)エンパワーメント講座(P.10~14)

男女共同参画について市民の理解の浸透を図り、心身の健康や個人のエンパワーメント(自分らしさ)を充実させるための講座。令和4年度は、7つの講座を実施し、計117名が受講した。

3 就労支援事業

(1)医療事務講座 (P.15)

就労を目指す市民を対象に、初心者でも分かりやすく且つ実践的なプログラムを通して、医療機関等で就労するために必要な知識を学ぶ連続講座。

令和4年度は、15名の募集に対して13名の応募があり、定員以内の募集であったため13名全員が受講(途中退校1名)し、医療事務能力検定試験医科3級に10名が合格した。

(2)就職サポートセミナー (P.15)[福岡県子育て女性就職支援センター主催]

上記の医療事務講座のプログラム内において、再就職の現状と具体的なアドバイスについてセミナーを実施。

(3)子育て女性就職支援センター出張相談[福岡県子育て女性就職支援センター北九州主催]

子育て中の女性を対象に、毎月第4木曜日(る～がる)の研修室にて出張相談を実施。
令和4年度は、相談者なし。

4 市民団体の育成・活動支援事業

(1)行橋男女共同参画ネットとの連携・支援

毎月第1土曜日に、行橋中央公民館にて連絡協議会を実施。

(2)登録団体の育成・支援(登録団体数10団体、うち2団体休会中)

毎月第1月曜日に、る～がるの研修室にて連絡会を実施。

5 広報活動

- ・市HP、市報、市公式SNSにて随時イベント等掲載
- ・スターコーンFMにて、令和4年度は計25回放送
- ・令和4年度より「る～がる通信」を年4回(6.9.12.3月)各200部発行し、各公民館・リブリオ行橋(図書館)、コスメイト行橋(複合文化施設)、ウイズゆくはし(総合福祉センター)等に配布した。
[※る～がる通信は、資料編P.16～31に掲載]

6 関係機関との連携

毎年11月12日から25日までの「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、DV防止街頭キャンペーンを実施。

令和4年度は、11月14日(月)にゆめタウン行橋店にて、本市人権政策課・婦人相談員、行橋警察署が共同で実施したキャンペーンに、る～がる職員2名が参加した。

また、11月15日(火)に福岡県(男女共同参画推進課)が主催したJR小倉駅でのキャンペーンに、る～がるセンター長が参加した。

【JR小倉駅でのキャンペーンの様子】



7 その他

・「生理用品」配布事業

令和3年10月19日に3つの市民団体から、240セットの生理用品の寄贈を受けた。令和3年10月25日より、る～がると行橋生活相談センター(ウイズゆくはし内)の2か所で無償配布を開始した。

【令和4年4月～5年3月2日現在の配布】

る～がる18セット、生活相談センター41セット
計59セット(昼用1個と夜用1個で1セット)

【配布カード】

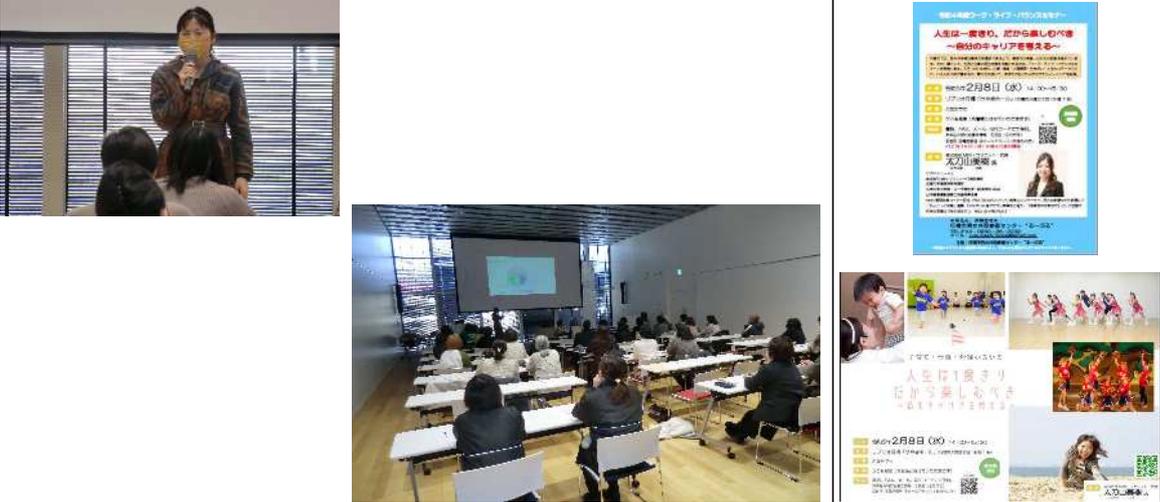


事業名	啓発イベント		
	第17回 る〜ぶるフェスタ		
	Have a happy life ～今、私にできること～		
共催等	-		
日時	令和4年6月11日(土)	会場	ウィズゆくほし 多目的ホール エントランスホール
	10:00～15:00		
講師等	神崎智子氏(福岡県男女共同参画センター「あすばる」センター長)		
定員	100名程度	対象	どなたでも
参加者数	550名	申込者数	-
事業内容	<p>男女共同参画社会の実現をめざし、女性・男性に関わる問題の解決や男女共同参画社会に向けた市民の理解の浸透を図る。毎年6月の行橋市男女共同参画推進月間の日に開催している。</p> <p>◆オープニング(山中恵理子さんによるヴァイオリン演奏)</p> <p>◆基調講演「自分らしく生きるために」 講師 神崎智子氏(福岡県男女共同参画センター「あすばる」センター長)</p> <p>◆パネルディスカッション コーディネーター 神崎 智子氏 パネリスト 中尾加奈美氏(むぎもんオーナー)寺尾健治氏(オンライン講座プロデューサー) 吉村松美氏(「手紙や」オーナー)</p> <p>◆ほかほかマルシェ&ステージイベント同時開催(主催団体:W/ハート&M)</p>		
アンケート結果	<p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する様々な言葉が世の中に出てきて意味がわからなかったことをわかりやすく教えてもらえました。そういう意味だったのかと思うことばかりでした。 ・オープニングで生のヴァイオリン聞けてテンション上がりました。神崎さんの講演はわかりやすく、堅苦しくなくて、よく頭に入ってきました。今まで?って思っていたことが少しずつ時代とともにいろんなバイアスが縮まって、ひとつのよいものになればよいと思います。 ・若い人たちが新しい考えで時代を動かしていくのだなと感じました。若い人には可能性がたくさんあって、先輩方の経験や知恵を基礎に自由に挑戦してもらいたいと思います。私共もまだまだがんばって正しい道を示していかないといけませんね。マルシェやステージも楽しい趣向がされており、10～15時まで楽しく過ごしました。 ・「やらないで後悔するより、やって後悔したほうがよい」という神崎智子さんの言葉が心に響きました。 ・オープニングの山中氏の演奏すばらしく感銘を受ける。本日の講師神崎先生、国の施策が男女共同参画の意義、必要性を解かれ比較的わかりやすかった。今後は、自分らしく生きるために自己啓発を行って実行していきたいと考える。 		<p>満足度(n=38)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良かった…………… 67% ・まあまあ良かった…………… 24% ・参考にならなかった…………… 9%
	<p>広報(複数回答可)(n=38)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報…………… 8名 ・ちらし…………… 9名 ・スターコーンFM…………… 0名 ・知人から…………… 15名 ・その他…………… 7名 		
事業風景(イメージ)			

事業名	公民館出前講座①		
	「世界・日本・行橋市の男女共同参画の現状」		
共催等	—		
日時	令和4年6月25日(土)	会場	仲津公民館
	11:00~12:00		
講師等	川越 龍弥(行橋市役所総合政策課)		
定員	30名程度	対 象	仲津校区の女性学級及び行政区長
参加者数	名(女性 名、男性 名、託児一名)	申込者数	—
事業内容	第3次行橋市男女共同参画プラン(後期計画)の重点施策の1つとして、令和2年度から11校区の住民を対象に計画・実施しており、今年度の1回目として、仲津校区の住民を対象として開催した。		
アンケート 結果	参加者の感想 ・実施なし	満足度(n=) ・実施なし ・とても良かった…………… % ・まあまあ良かった…………… % ・参考にならなかった…………… %	
		参加理由(複数回答可)(n=) ・実施なし ・興味があったため…………… 名 ・女性学級から勧められたため…………… 名 ・未記入…………… 名	
	今後参加してみたい講座 ・実施なし	広報(複数回答可) ・実施なし	
事業風景 (イメージ)	本講座は写真撮影なし		—

事業名	市民企画講座① 東京発「みちあそび」ってなに！？行橋初「みちあそび」をやってみよう!!		
共催等	—		
日時	令和4年 ① 9月1日(木)10:00~12:00 令和4年 ②10月8日(土)13:00~15:00	会場	行橋市研修センター オートキャンプ場
講師等	藤原 浩美氏(With Wind 代表)		
定員	-名	対象	子どもが好きな方・子どもの遊び場を作りたい方・多世代交流・地域活性等に興味のある方等
参加者数	①12名(女性10名、男性2名)②不明	申込者数	—
事業内容	<p>宗像市で「みちあそび」を実践している藤原さんこと”ひろりん”を講師にお招きして、なぜ”みちあそび”をはじめたのか？みちあそびのいいところは？などを教えていただき、”みちあそび”を通じて、子どもも大人も安心して過ごせる作り方を学ぶ。講座で学んだことを、10月8日に実践をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《団体活動紹介:「一般社団法人 WハートK&M」》</p> <p>よりよい子育てのために、子育てを楽しむためにを目的に、乳幼児から小中学生までの子育てや子どもを支援する活動をする。 毎日をもっと楽しく！豊かに！笑顔あふれる日々に！そのお手伝いとなる活動をする。 (活動歴:10年 会員数:9名)</p> </div>		
アンケート結果	<p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みちあそびは、地域づくりになると思いました。宗像の日の里団地みたいに行橋でも出来たらいいのと思います。 ・子どもと一緒に自分も楽しんで、楽しい時間を定期的にもてるようにしたいと思いました。 ・自分が住んでいる地域でやってみたい。今、学校の委員をしているので校区でできたらいいと思います。 ・以前、忍者あそびを子ども劇場でやったことがあり、それを思い出しました。人を集めるのが難しそうだけど、大人もワクワクします。講師より…人は集めなくても大丈夫。道だから勝手にやってきて、遊びだす。子どもも手伝ってくれます。 ・周りの人を巻き込んで、やってみたいです。 ・自分のできることを身近なことからやりたいと思います。 	<p>満足度(n=) (設問なし)</p>	
	<p>今後参加してみたい講座 設問なし</p>	<p>参加理由(複数回答可)(n=) (設問なし)</p>	
事業風景(イメージ)			

事業名	市民企画講座②		
	子どもの声を聴けていますか？～アンコンシャスバイアスに気づこう！～		
共催等	-		
日時	令和5年2月19日(日)	会場	行橋市中央公民館 (2階14号会議室)
	13:30~15:00		
講師等	杉浦 しのぶ氏(不登校保護者支援 えがおの会 代表)		
定員	50名	対象	どなたでも
参加者数	33名(女性一名、男性一名、託児一名)	申込者数	-
事業内容	<p>「ジェンダー」に対する間違っただ思い込みや偏見を学び、正しい理解と対応を考える。ワーク(座学)を通して、アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)を考え見直すことで、子どもに対する固定観念的な誤った刷り込みをなくし、子育てに役立てていけるように学習する。</p>		
	<p>《団体活動紹介:「行橋男女共同参画地域づくり実行委員会」》</p> <p>地域から男女共同参画を広める活動を行っている。 (活動歴:15年 会員数:9名)</p>		
アンケート結果	<p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の中にアンコンシャスバイアスが…あると思います。日々「言ってしまった」でもそれが気がついたら、マルって言ってくれました。その繰り返しですが、まず「受け止める」、意識しながらそれが自然体で出来るようになればと思います。とても貴重なお話有難うございました。 ・初めて聞きました“アンコンシャスバイアス”という言葉がとても心に残りました。自分は当たり前と思っていることで、誰かを傷つけているかも知れないという事をご自分の体験談でお話しいただいて、とても伝わりました。少し自分の行動を振り返ってみようと思いました。またどこかでお話を伺いたいです。今日は本当に有難うございました。 ・アンコンシャスバイアス、初めて聞いた言葉でしたが子育て中の子どもにも伝えたい、また、近所の不登校を抱える親子とのかかわりもあるので、参考になることが一杯でした。相談業務にも携わった経験もあり、受け止めることの大切さにも再確認。残り少ない人生に向かっていますが、今後も今日の講演を少しでも役立てて、キャッチボールをしていけたらとパワーを頂きました。 		<p>満足度 (設問なし)</p>
	<p>今後参加してみたい講座 (設問なし)</p>		<p>参加理由(複数回答可) (設問なし)</p>
		<p>広報(複数回答可)(n=29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報…………… 7名 ・ちらし・ポスター…………… 4名 ・知人から…………… 16名 ・スターコーンFM…………… 16名 ・その他…………… 16名 ・未回答…………… 名 	
事業風景 (イメージ)			
			

事業名	ワークライフバランスセミナー 「人生は一度きり。だから楽しむべき」～自分のキャリアを考える～		
共催等	—		
日時	令和5年2月8日(水) 14:00～15:30	会場	リブリオ行橋 けやきホール
講師等	太刀山 美樹氏(株式会社MIKI・ファニット 代表)		
定員	50名程度	対象	どなたでも
参加者数	39名(女性 38名、男性 1名)	申込者数	—
事業内容	女性活躍の推進の観点から、生活と仕事の両立を可能にする働き方改革推進などの観点から講演を実施。 人生100年時代、仕事・家庭・人間関係・生きがい…人生のステージごとに、いろんな不安が募るもの。肩の力も抜いて、あなたの心とからだのウエルビーイングを応援。		
アンケート結果	<p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すてきな話をありがとうございました。 ・元気なランチアの話でクスッと笑わせていただきました。何より美樹さんが楽しそうにされている事が大切なんだと思いました。誰かを元気に楽しくするには、まず自分からですね!!家族の応援にとても感謝したいです。 ・とても考える所が沢山あった講演でした。 ・先生自身が強い人だと思っただけ、小さなこと自分のできることからやってみようという事は仕事とかではなく、あてはまることだと思いました。行橋の女性や住んでいる人がもっと楽しく生きやすくなるために、こういうことを発信していくこと(先生の話や聞くことではなく)皆が想える街になっていったらいいなと思いました。 ・これからの人生、楽しんでいきたいです。思い次第で気持ちの持ち方が変わるなと思いました。パワーを沢山いただき、ありがとうございました。 ・おもしろくて楽しく、とてもためになるお話でした。これからの生き方を考えさせられました。また話を聞きたいと思います。 	<p>満足度 (n=34)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良かった…………… 90% ・まあまあ良かった…………… 10% ・参考にならなかった…………… 0% (無回答3名) 	
	<p>今後参加してみたい講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さとうみき」さんという、若年性アルツハイマー型認知症と診断された方が、朝日新聞に掲載されていたので聞いてみたいと思います。 ・困ったときの法律相談 ・社会のデジタル化について分かりやすく説明してくれる先生がいたら聞いてみたい ・ランチアをやってみたくので、皆さんと「体験」出来るチャンスを!! ・メンタルヘルス関係や、心理カウンセラーの話が聞きたい ・高齢者とSMS ・障がい者、高齢者、スポーツなど 	<p>参加理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演題「人生は一度きり、だから楽しむべき」というテーマに興味を持ちました。 ・元気のもとを知りたかった。前向きに進める一歩をどうしたらいいか ・「人生は一度きり、楽しむべき」どんな事かなと思って ・地域活動に興味があって ・太刀山さんがとてもパワフルで元気がもらえると聞いたから ・楽しむべき!の文言で聞いてみたいと思いました。 <p>広報(複数回答可)(n=34)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報…………… 11名 ・ちらし…………… 12名 ・スターコーンFM…………… 0名 ・知人から…………… 18名 ・その他…………… 2名 (る～ぶる2名) 	
事業風景(イメージ)			

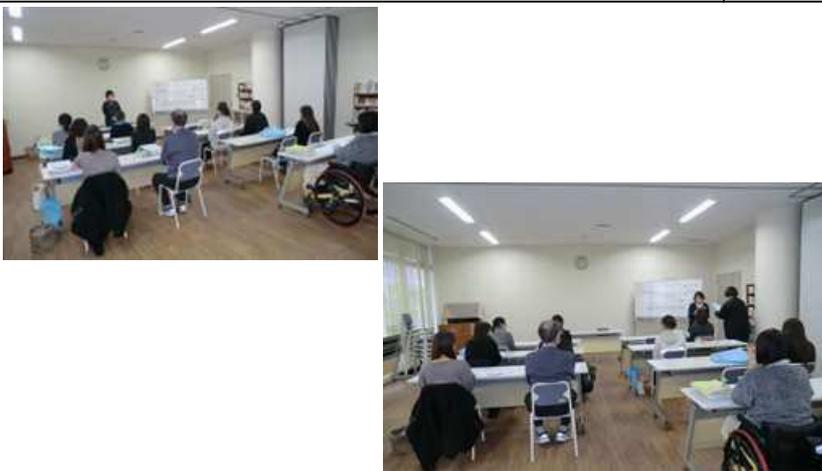
事業名	エンパワーメント講座(パパ・ママ講座①)		
	なぜ妻が不機嫌になるのか ～お悩み解決のヒントを探してみませんか～		
共催等	-		
日時	令和4年10月23日(日)	会場	行橋市男女共同参画センター研修室
	10:00~12:00		
講師等	馬場 義之氏(NPO法人 ファザーリングジャパン九州 理事)		
定員	15名程度	対 象	子育て中の方
参加者数	6名(男性4名、女性2名、託児1名)	申込者数	-
事業内容	男女共同参画について市民の理解の浸透を図り、心身の健康や各々のエンパワーメント(自分らしさ)を充実させるための講座。パパ・ママを応援する3回連続講座を開催。子育て中のパパ同士で、子育てや家事の悩みなどをシェアして、自分らしく生きるコツを一緒に考える。 「精一杯やっているつもりだ」「やっているはずなのに妻に理解されない」「家事や育児をやっても妻を怒らせてしまう」「なぜだ」と思うことはありませんか？あなたのモヤモヤを言葉にして、自分らしく生きるコツを一緒に考えませんか。		
アンケート結果	参加者の感想 ・良かったです。馬場さん良識的な方です。 ・足がかりをつかめた部分がありました。ありがとうございました。 ・良好な夫婦関係を築くヒントをもらえたように思える ・とても参考になりました。	満足度(n=6) ・とても良かった…………… 約100% ・まあまあ良かった…………… 約 0% ・参考にならなかった…………… 約 0% ・無記入…………… 約 0%	参加理由 ・子どもに対する男性の考え方を学ぶ。どの様なお悩み解決の方法があるのだろうか？ ・妻の進め ・妻との関係を改善したいため ・妻と相談してから、進められた ・妻の不機嫌なタイミングを知りたかったから
	今後参加してみたい講座 ・親子で料理教室 ・共働きについて ・被害者の訴状作成を指導します講座	広報(複数回答可)(n=6) ・市報…………… 3名 ・ちらし…………… 1名 ・スターコーンFM…………… 0名 ・知人から…………… 1名 ・その他…………… 1名	
事業風景(イメージ)	 		

事業名	エンパワーメント講座(パパ・ママ講座②)		
	夫婦円満の新メソッド！？頭と部屋のおかたづけを始めよう！		
共催等	-		
日時	令和4年11月20日(日)	会場	行橋市男女共同参画センター研修室
	10:00~12:00		
講師等	NPO法人 ファザリングジャパン九州 理事 ライフオーガナイザー® 認定講師「夫婦会議サポーター」 みね せりか氏		
定員	15名程度	対象	子育て中の方
参加者数	7名(夫婦1組、男性1名、女性4名、託児1名)	申込者数	-
事業内容	<p>男女共同参画について市民の理解の浸透を図り、心身の健康や各々のエンパワーメント(自分らしさ)を充実させるための講座。パパ・ママを応援する3回連続講座を開催。子育て中のパパ同士で、子育てや家事の悩みなどをシェアして、自分らしく生きるコツを一緒に考える。</p> <p>生活を共にする夫婦・家族にとって、おかたづけは衝突やストレスのもとになりやすいポイント。裏を返せば、おかたづけが進めば関係性がグッと良くなるということ！ご自分やパートナーの価値観や「クセ」を知って、スッキリした暮らしと円満な夫婦関係への第一歩を踏み出しませんか？</p>		
アンケート結果	<p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かたづけ」の話をききにきて…「夫婦」のことを考えました。息子2人が自立の分岐点、夫婦2人の時間が増えるステージになってます。「おかたづけ」をコミュニケーションツールにしてみようかなと思います。参加している方も発言の機械があり、楽しく学びました。 <ul style="list-style-type: none"> ・早速、家に帰って家族でやってみます。 ・わが家は3世代同居なので、まず自分のまわりから少しやります(苦笑) ・脳特性を基本に行動特性を考えてみたいと思います。まずは頭のおかたづけから始めてみたいです。夫は、退職して家にいる時間が長いので、いろいろ目に付くようになってこの時期に、良いお話しを伺い活用していきたいと思います。 ・片付け時、初めにすべて物をとり出す等今までしてこなかったのが、今後参考にしたいです。 ・抽象的な説明がおそらく夫には難しかったらうなと思い聴かせていただきました。心の整理をするための心時間の余裕がないので、子どもが大きくなるまで難しいなと思いました。(今2才なので、第三者の手助けがないと困難と感じました。) その時がきたらまた講習を受けられたら感じ方が変わるかなと思いました。 ・片づけるのも大切ですが、忙しい日常の中ですぐに使いたい物が手にとれるということも大切。まさに「収める方法」をもっと知りたかった。もともとパートナーと一緒にやるという気持ちがない、どう引っ張りだせばいいのが…。 	<p>満足度(n=6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良かった…………… 約100% ・まあまあ良かった…………… 約 0% ・参考にならなかった…………… 約 0% ・無記入…………… 約 0% 	
	<p>今後参加してみたい講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の年金・税金・公的扶助など ・夫婦コミュニケーション ・妻がしんどい(精神的においつめられてる)時、夫にできることはなにか？ 	<p>参加理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対する男性の考え方を学ぶ。どの様なお悩み解決の方法があるのだろうか？ ・妻の進め ・妻との関係を改善したいため ・妻と相談してから、進められた ・妻の不機嫌なタイミングを知りたかったから 	
		<p>広報(複数回答可)(n=6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報…………… 3名 ・ちらし…………… 1名 ・スターコーンFM…………… 0名 ・知人から…………… 1名 ・その他…………… 1名 	
事業風景(イメージ)			

事業名	エンパワーメント講座(パパ・ママ講座③)		
	パパをもっと楽しもう！ 遊ぼう・学ぼう・ふれあおう		
共催等	-		
日時	令和4年12月11日(日)	会場	行橋市男女共同参画センター研修室
	10:00~12:00		
講師等	NPO法人 ファザーリングジャパン九州 理事 馬場 義之氏		
定員	15名程度	対象	子育て中の方
参加者数	15名(夫婦1組、男性4名、女性1名、子ども8名)	申込者数	-
事業内容	<p>男女共同参画について市民の理解の浸透を図り、心身の健康や各々のエンパワーメント(自分らしさ)を充実させるための講座。パパ・ママを応援する3回連続講座を開催。子育て中のパパ同士で、子育てや家事の悩みなどをシェアして、自分らしく生きるコツを一緒に考える。お話しあり、親子あそびあり、絵本あり、参加型の育児講座です。お子さんとあそびながらパパならではの育児法について、一緒に体験してみませんか。</p>		
アンケート結果	<p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった！ ・子どもとても楽しそうでしたし、色々とお話聞かせて頂いて良かったです。ぜひ、また参加したいです。 ・子どもの人見知りはあるが、とても楽しかったです。 ・最初はどのようなことをするのか？等、不安が多く、子どもがまだ1才なので参加するのが場違いなのかと思いました。参加したことで少し他の方とコミュニケーションも図れ、楽しくなっていき、またこういう機会があれば参加してみたいと思いました。 ・来て良かったです。もっと子どもとパパが遊べる環境が行橋にあればと思います。 	<p>満足度(n=6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良かった…………… 約100% ・まあまあ良かった…………… 約 0% ・参考にならなかった…………… 約 0% ・無記入…………… 約 0% 	
	<p>今後参加してみたい講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共働きに関すること ・月1回でもパパ友ができる機会があればいいなと思います。子どもの遊び方など。 ・パパ・ママと他の子ども達と体操や遊びができればいいなと思います。 	<p>広報(複数回答可)(n=6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報…………… 4名 ・ちらし…………… 1名 ・スターコーンFM…………… 0名 ・知人から…………… 1名 ・その他…………… 1名 	
事業風景(イメージ)			
			

事業名	エンパワーメント講座④		
	「誰もが活躍できる社会をめざして」		
共催等	—		
日時	令和5年1月28日(土)	会場	る～ぶる研修室
	13:00～14:30		
講師等	甲木 正子氏(西日本新聞社 執行役員北九州本社代表)		
定員	50名	対象	どなたでも
参加者数	36名(女性32名、男性4名、託児一名)	申込者数	—
事業内容	<p>男女共同参画について市民の理解の浸透を図り、心身の健康や各々のエンパワーメント(自分らしさ)を充実させるための講座。 性別に関係なく誰もが活躍できる社会をつくるには?男性社会といわれる新聞社で20枚の辞令をもらって働き続けている体験をもとに、望ましい企業の人材育成についてお話しします。「自分らしく生き生きと働くコツ」について一緒に考えます。「ジェンダー平等」や「無意識の偏見」など、最近よく耳にする用語についても解説します。</p>		
アンケート結果	<p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男社会の新聞社で働き続けるのは本当に大変だったと思いますし、こんな方が頑張ってくれた事で今の男女平等だったり、女の人の立場を考えてもらえる社会になって来たんだなと思いました。 ・アンコンシャス・バイアスは他人からももちろんあるけれど、自分の中にも自分に向けてのバイアスがあると感じました。誰もが自分らしく生きられる社会づくり、自覚したいです。 ・均等法以降に採用された女性たちが中年になり、それなりに管理職になってるといのが良くわかりました。頑張って地位も高くなり、今後は若い世代がそんなに頑張らなくても自然に生きていける社会になればいいなと思います。私は均等法前世代です「とにかく女性が辞めずに働き続ける」のが目標とされてました。 ・非常にポジティブな生き方をされているなど感じました。社会やまわりの環境にめぐることもあったと思いますが、常に前進されているのが快かったです。 		<p>満足度(n=32)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良かった…………… 74% ・まあまあ良かった…………… 23% ・参考にならなかった…………… 3%
	<p>今後参加してみたい講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが自分が自分で生活しやすい生活してもいいんだ!!と誰もが思える様な講座 ・女性の方も話も刺激になるけれど男性目線のお話も面白いのではないかな… ・「女性のための公的保障」例えば、社会保険や年金、雇用保険、税金制度等 ・定年退職後、社会とつながりどのように生活しているか ・中島俊介先生のメンタルヘルスのお話よいですよ 		<p>参加理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の中で大活躍されている甲木さんが、どのようにして社会の壁や試練を乗り越えてきたのかを聞きたかった。 ・講座に興味があり経験を聞いてみたいと思った。 <p>広報(複数回答可)(n=32)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報…………… 7名 ・ちらし…………… 12名 ・スターコーンFM…………… 0名 ・知人から…………… 15名 ・その他…………… 1名 (る～ぶる6名)
事業風景(イメージ)			
			

事業名	エンパワーメント講座⑤⑥⑦ 「こころとからだ、セルフリンパケアでますます元気に！」		
共催等	—		
日時	令和5年2月17、24日3月10日(金) 各10:00~12:00	会場	る〜ぶる研修室
講師等	丸尾 陽実氏(日本メディケアリンパ協会 理事長)		
定員	各20名程度	対象	行橋市内在住、在勤の女性
参加者数	⑤19名、⑥16名、⑦17名(すべて女性のみ)	申込者数	—
事業内容	男女共同参画について市民の理解の浸透を図り、心身の健康や各々のエンパワーメント(自分らしさ)を充実させるための講座。 最近よく耳にする“リンパ”。しかし「リンパっていったい何だろう」「リンパケアが身体にとってなぜ必要なんだろう」そんな疑問に、リンパケアのプロが分かりやすく、楽しく、ココロと体の健康に大切な働きをするリンパについてお伝えします。その後、自宅でも毎日できるセルフリンパケアについて学ぶ。 【第1回⑤】リンパの仕組と働き～何のためにリンパはあるの～ 【第2回⑥】セルフリンパケア～幸せボディの作り方～ 【第3回⑦】ボディリンパケア技術を学ぶ～誰かを癒す技を学ぶ～		
アンケート結果	参加者の感想 ・話も楽しくて、わかりやすくて、楽しく学ぶことができました。次回も丸尾先生の講座をお願いします。 ・仕事と親の介護とで忙しく過ごしていますが、自分のための時間を少し作って、身体のケアを心がけたいと思います。 ・先生のパワーがすごくて、楽しく参加できました。話も内容もとてもよかったです。少しずつ自分で習ったことを実践していきたいです。 ・丸尾先生の話術について引き込まれ、とても有意義な時間でした。ありがとうございました。 ・リンパ講座は楽しかったです。先生の講義を聞いて元気になりました。 ・2回目と3回目の講座が1週空いたのが残念でしたが(意欲低下?)通して参加できて有意義でした。教えていただいたセルフケアを習慣づけるよう心がけたいと思います。次回、ステップアップした講座の企画をお願いします。 ・市報の写真では、とても上品で近寄りたがい人かと思いましたが(良い意味で)お話が楽しくて、あつという間の楽しい時間でした。また続きをお願いしたいです。本当に楽しく学ぶことが出来、楽しかったです。	満足度(n=19) ・とても良かった…………… 100% ・まあまあ良かった…………… 0% ・参考にならなかった…………… 0%	
	参加理由 ・自分の体調の不調を改善したかったから。 ・仕事などでストレス・疲れが多いので、自分の癒しのため。 ・もともとリンパに興味があり、どのような仕組みなのか知りたく、参加希望しました。 ・最近、何となく免疫力の低下を実感していました。 ・家に居ても何もしなくて、これはダメだと思い、リンパの事は気になっていたので友人から誘われたので申し込みました。	参加理由 ・自分の体調の不調を改善したかったから。 ・仕事などでストレス・疲れが多いので、自分の癒しのため。 ・もともとリンパに興味があり、どのような仕組みなのか知りたく、参加希望しました。 ・最近、何となく免疫力の低下を実感していました。 ・家に居ても何もしなくて、これはダメだと思い、リンパの事は気になっていたので友人から誘われたので申し込みました。	
	今後参加してみたい講座 ・withコロナの過ごし方 ・体の健康について等の講座 ・ストレッチ等、ヨガ等、健康について、ガンについて等 ・もっとリンパの専門的な講座がほしい	広報(複数回答可)(n=19) ・市報…………… 16名 ・ちらし…………… 0名 ・スターコーンFM…………… 0名 ・知人から…………… 1名 ・その他…………… 0名 (る〜ぶる1名)	
事業風景(イメージ)	 		

事業名	就労支援講座 医療事務講座		
共催等	一(※「就職サポートセミナー」は福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課(子育て女性就職センター)と共催)		
日時	令和4年9月9日(金)～ 12月2日(金)(内24日) 9:30～12:00 (講座22日、試験1日、就職サポートセミナー1日)	会場	る～ぶる研修室
講師等	山下 昌江(よしえ)氏(有限会社医療事務研究会)		
定員	15名程度	対象	市内在住の就労を目指す方
参加者数	13名(内、途中退校1名)(女性11名、男性1名、託児1名)	申込者数	13名(メール11名、ハガキ2名)
事業内容	医療事務講座を開催し、学習機会を提供することで、市民の就業支援を行うもの。医科3級医療事務技能検定の資格取得を目指すもの。 資格取得に加え、就職サポートセミナーを福岡県子育て女性就職センターと共催で行い、就職に関するマナー等を習得する機会とした。		
アンケート結果	<p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きながらで追いつかない部分もあり、もう少し頑張りたかったです。やっと受けられた講座なので、これから先につなげて行くためにも、今日ダメでもまた、チャレンジしたいです。 ・とても楽しく学べて良かったです。ありがとうございました。 ・先生が分かりやすく、気にかけてくれるながら教えていただいたので頑張れました。 ・むずかしかったですが、無理なくできました。 ・3ヶ月という間でしたが、楽しく過ごせました。 ・短時間だったけれど、とても分かりやすく毎回来るのが楽しい講座でした。 ・つめ込み、受講のスピードが早く、ついていけなかった。 ・就職へのきっかけづくりになり、久しぶりの勉強とても楽しかったです。 ・市報で見た時は、簡単な講座と思いましたが、私は、難しい勉強でした。 ・久しぶり(学生ぶり)の勉強だったのが楽しかったです。 	<p>満足度(n=12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良かった…………… 100% ・まあまあ良かった…………… 0% ・参考にならなかった…………… 0% <p>参加理由 (設問なし)</p>	
	<p>今後参加してみたい講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写教 ・パソコン ・介護関係 ・住居環境コーディネーター ・資格取得へつながる講座 ・医療事務講座2級 	<p>広報(複数回答可)(n=12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報…………… 8名 ・ちらし…………… 1名 ・スターコーンFM…………… 0名 ・知人から…………… 1名 ・その他…………… 1名 	
事業風景 (イメージ)			
			

2022年度

行橋市男女共同参画センターる〜ぶる情報紙



人々が手をつなぎ輪をつくるように・・・

る〜ぶる

vol.25
2022. 6

発行：行橋市男女共同参画センター



6月は男女共同参画推進月間です！



皆さんは、「行橋市男女共同参画を推進する条例」があることを御存じですか？
行橋市では、6月を男女共同参画推進月間、6月の第3土曜日を男女共同参画の日と定めております。国も6月23日から29日までを男女共同参画週間として様々な取り組みや啓発活動を行っています。

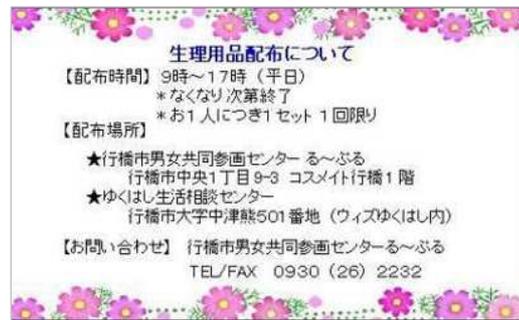
行橋市では、6月11日（土）に第17回る〜ぶるフェスタを開催します。全体のテーマを「Have a happy life ~今、私にできること~」と題しまして、オープニングにみやこ町出身の山中恵理子さんによるヴァイオリン演奏、基調講演に福岡県男女共同参画センター「あすばる」の神崎センター長を予定しています。その後、パネルディスカッションを開催することとしています。お昼からは、青豊高校ダンス部や京都高校のダンス部バトン部による演技、会場周辺には、25店舗が軒を並べての「ぽかぽかマルシェinる〜ぶるフェスタ」を開催します。当日は、聴いて、見て、考えて、そして楽しんで下さい。多くの皆様のご来場をお待ちしております。



必要な方に生理用品を配布しています。



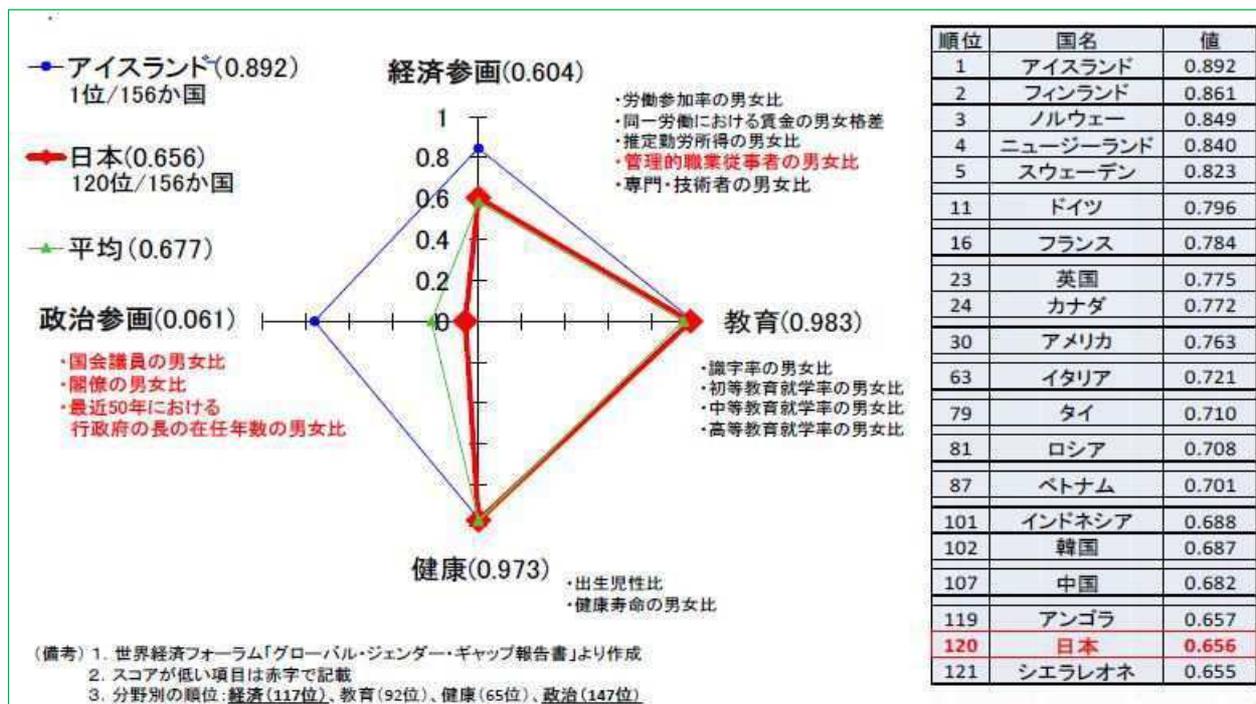
皆さんは、「生理の貧困」ということを聞いたことがありますか？全国的に、コロナ渦の中、生理用品を買えない女性が増えています。昨年の10月に、市内3つの女性団体から寄付を頂きまして、「る〜ぶる」と「ゆくはし生活相談センター」（ウイズゆくはし内）の2ヶ所で、カードの提示により、一人1セットを無償で配布しています。是非、ご活用下さい。



今まで年1回発行していましたが「る〜ぶる情報誌」を今年度から年4回することとしました。頑張って皆さんに男女共同参画の様々な情報をお届けしたいと思っていますので、どうぞ今年度もよろしくお願い致します。

ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2021年

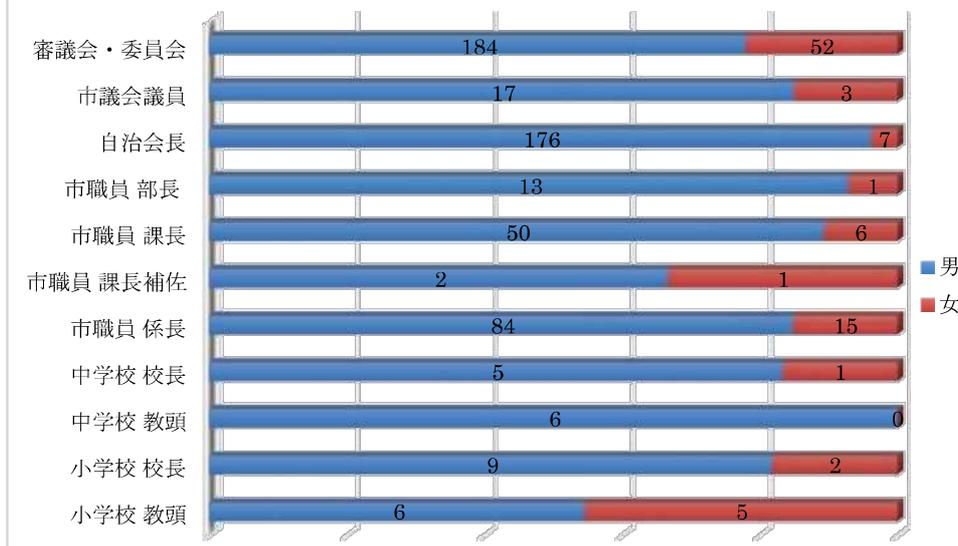
スイスに本部がある世界経済フォーラムから先日2022年のジェンダー指数が公表されました。この指数は、「政治参画」「経済参画」「教育」「健康」の4つの分野のデータからなり、0が完全不平等、1が完全平等を示しています。2022年の日本の総合スコアは、0.656、順位は156ヶ国中120位でした。順位、スコアともG7先進7ヶ国中、最低レベル、アジア諸国の中でも韓国や中国、ASEAN諸国より低い結果となりました。



行橋市の現状

では、私たちの住んでいる行橋市ではどうでしょうか？
行橋市に於ける参画状況、政策・決定の場の参画状況の現状を、見てみましょう。
令和2年、初めての女性教育長が誕生し、令和3年、初めての女性教育部長が誕生しました！

行橋市に於ける女性参画の現状 2022



市政や職場など様々な場において、多様な視点や立場からの意見が反映されるためには、性別にかかわらず平等に政策方針決定過程へ参画できる体制の整備が重要となります。
行橋市の各分野ごとの女性登用の現状は左表のようになっていきます。(審議会・委員会のデータは2020年度のものです。)

「モラハラ」って何？



最近よく耳にする「モラハラ」はモラルハラスメントの略で、これは精神的DVにあたります。モラハラ加害者は怖いという印象を与えるために、暴言や怒鳴り声を使います。一度恐怖心を植え付けられると、実際に相手が怖いかどうか客観的な判断ができず、怖いという印象が先行してどんどん怖くなっていきます。相手が怖いから言うことを聞いて我慢してしまう…。夫婦・恋人の関係で「怖い」という感情が出てくる時点でおかしいのです。

また、身体的DVと違い、外からは分かりにくく、個人の捉え方の違いによって左右されやすいため「この程度の事だし考えすぎかも」「DVとまでは言えないから」と一人で抱え込み、相手に一方的に加害されているのに、自分が悪いんじゃないかと自分を責める方も多いです。

モラハラの提唱者であるマリー＝フランス・イルゴイエヌ又は、精神的な暴力は肉体的な暴力と同じ程度に、場合によってはそれ以上に人を傷つけるもので犯罪であると述べています。

身体的暴力

身体に対する暴力。刑法の傷害罪や暴行罪に該当する行為です。

- ・殴る ・蹴る ・平手で打つ
- ・髪を引っ張る ・首をしめる
- ・引きずり回す ・物を投げる
- ・刃物を突きつける など

性的暴力

- ・嫌がっているのに性的行為を強要する
- ・避妊に協力しない
- ・見たくないのにポルノビデオを見せる
- ・裸の写真を撮る など

経済的暴力

- ・生活費を渡さない・外で働かせない
- ・借金をさせる・借りたお金を返さない
- ・デート代を常に払わせる など

精神的暴力

心無い言動等により相手の心を傷つけるもの。PTSD（心的外傷後ストレス障害）に至った場合は、傷害罪として処罰されることもあります。

- ・口汚くののしる ・無視する
- ・大声で怒鳴る ・脅かす
- ・侮辱的発言で傷つける
- ・人前でバカにしたり、恥をかかせる
- ・支配、独占しようとする
- ・浮気を疑って責める
- ・行動を監視する
- ・勝手に携帯電話をチェックする
- ・メールやアドレスを勝手に消す など

子どもを利用した暴力

- ・子どもに暴力をふるう
- ・子どもの前で暴力をふるう
- ・子どもに悪口を吹き込む
- ・子どもを取り上げると脅す など

配偶者や交際相手に対する暴力のことを、DV（ドメスティックバイオレンス）といい、殴る・蹴る等の身体的なDVのほかに、大声で怒鳴る・経済的な自由をあたえてもらえない・パートナー以外の人間関係を制限される・性行為を強要される・子どもに暴力をふるう等上記のような行為もDVです。DVは犯罪となる行為を含む重大な人権侵害です。

少しでも当てはまる事があれば、我慢せず、一度相談して下さい。



これってDVかもと思ったら

行橋女性相談電話

☎0930-25-1124

月～金 9時～16時
(祝日、年末年始は除く)

行橋警察署

☎0930-24-5110

緊急時は 110 番を！

相談無料:要予約

子育て女性の就職を応援



“る～ぶる”で

出張相談

毎月第4木曜日10:00～12:00

行橋市男女共同参画センター

〈予約・お問い合わせ先〉
子育て女性就職支援センター
093-533-6637

相談日の2日前までに申し込みください。

行橋市男女共同参画センターる～ぶる

〒824-0005

行橋市中央1-9-3 コスメイト行橋1階

TEL/FAX:0930-26-2232

E-mail:d-center@tea.ocn.ne.jp

開館時間 月～金曜日/午前8時30分から午後5時まで
*イベントの場合は、土・日・祝日も開館します

休館日 土・日曜日、祝日、
年未年始(12月29日～1月3日)
*研修室の利用について詳しくは、センターまで
ご相談ください

愛称の“る～ぶる”とは・・・

ループ(輪)とピープル(人々)をあわせた造語で、
人々が輪になって手をつなぎ、お互いが思いやりの
気持ちを持ち、明るいまちになるように、との願いが
こめられています

*る～ぶるのシンボルマークは・・・**



明日へ羽ばたこうとする蝶の羽の力強さに、人々
を重ねコスモスの花に拠点を表現。多くの人々が集
い交流を深め、様々な個性と能力が発揮できるよう
エンパワーメントし、男女共同参画社会づくりの大
切な拠点になるようにと願いを込めています。

開設1周年記念に公募により決まりました。

～行橋市男女共同参画センター講座案内～

◆ 就業支援講座 ◆

医療事務講座(全24回 60時間)

9月6日～11月29日(火・金)9:30～12:00

・受講料11,500円

・別途教材費・受験料15,000円

(医科3級医療事務技能検定試験3級)

*詳細は、7月15日号の市報に掲載予定

◆企画募集◆

市民企画講座(募集中)

男女共同参画社会の実現に関心を持ち、行橋市で
活動する団体およびグループが行う講座を4企画
募集。

*募集期間 6月1日～6月30日

◆る～ぶる主催講座◆

「エンパワーメント講座」(予定)

9月からは、「わたし磨き講座」「パパ・ママ子育て
講座」「ワークライフバランスセミナー」など、様々
な講座を予定しております。開催日時等は、決まり
次第、市報・ホームページに掲載します。



る～ぶるからのお詫びとお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、
事業の延期や中止などで大変ご迷惑をおかけしており
ますこと、心よりお詫び申し上げます。

今後の各事業につきましては、市報・ホームページなど
でお知らせして参りますので、よろしくお願い致します。





人々が手をつなぎ輪をつくるように・・・

る～ぶる

vol.26
2022.9

発行：行橋市男女共同参画センター

第17回る～ぶるフェスタ

Have a happy life ～今、私にできること～

令和4年6月11日(土) ウイズゆくはし多目的ホールをメイン会場に、「第17回る～ぶるフェスタ」を開催いたしました。昨年、一昨年とコロナ禍の中、開催することが出来ず大変残念に思っていました。今年も感染拡大が続く中、大変心配しておりましたが実行委員会メンバーの熱意が伝わったのか、多くの皆様のご参加の下開催することが出来ました。

皆さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

今回のフェスタでは、全体のテーマを「Have a happy life～今、私にできること～」と題しまして、オープニングには、国内外で活躍されています山中恵理子さんの素晴らしいヴァイオリン演奏を披露して頂き、基調講演には、福岡県男女共同参画センター「あすばる」センター長の神崎智子さんの「じぶんらしく生きるために」をテーマに男女共同参画社会の重要性について、ご自身の豊富な知識と経験を踏まえ、解りやすい言葉でお話を頂きました。「男女共同参画社会の実現は、国の男女共同参画社会基本法を根拠に、都道府県や市町村において条例や計画で決められている。実行に移さなければならない」と強調していました。

また、男女の役割に関する無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)が女性活躍の目を摘んでいることの現状をお話され、各人の意識改革が必要であることを強く訴えていました。時にユーモラスに、大変面白くお話され、時間が経つのを忘れるくらいに有意義な講演でした。その後、神崎センター長をコーディネーターに、カフェ「むぎもん」オーナーの中尾加奈美さん、オンライン講座プロデューサーの寺尾健治さん、ショップ「手紙や」オーナーの松村松美さんの3人をお迎えし、パネリストにパネルディスカッションを開催しました。午後からは、ステージイベントを開催し、全国大会出場が決まっている青豊高校ダンス部の演技などが行われ、会場いっぱいの皆さんで埋め尽くされました。

一方、同時開催の「ぽかぽかマルシェ in る～ぶるフェスタ」には朝から人だかりが出来、大変盛況でした。2年ぶりの「る～ぶるフェスタ」、皆様のご協力により、成功裏に終了することが出来たと思っております。改めてお礼を申し上げます。



オープニング



基調講演



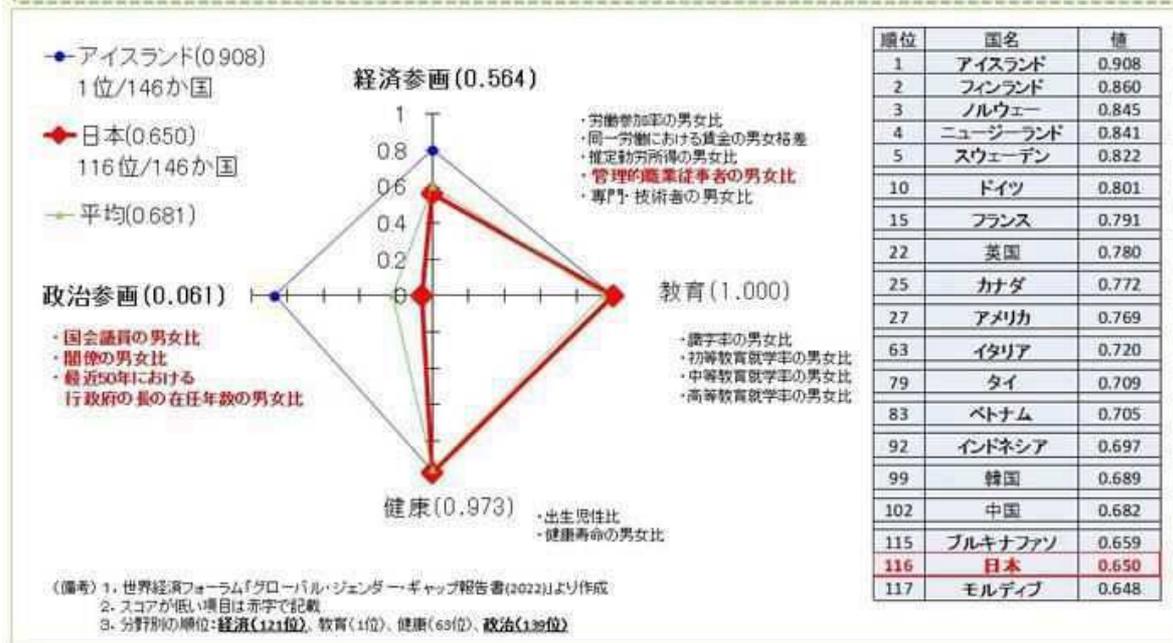
パネルディスカッション



高校生と一緒に集合写真

ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2022年

- ・スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が公表。男性に対する女性の割合(女性の数値/男性の数値)を示しており、0が完全不平等、1が完全平等。
- ・日本は146か国中116位。「教育」と「健康」の値は世界トップクラスだが、「政治」と「経済」の値が低い。



今年の日本は、全体で調査対象となった146ヶ国中116位と大変低い順位でした。昨年も120位、一昨年も121位と低い順位の常連国となっています。

教育分野は、146ヶ国中1位、そして健康分野は、長寿国日本63位と健闘していますが、政治参画・経済参画に女性の進出が大変遅れていることが全体の順位が低い原因です。

対象は下院の女性議員の数で、日本では衆議院の女性議員の数のことで、衆議院465人中46人、率にして9.9%と大変低い状況です。そして女性閣僚の数も対象で、日本は岸田内閣19人の閣僚中、女性が2人と大変少ないことから139位と低迷しています。

経済参画では、女性の労働参加率や女性管理職の割合、収入の格差などが対象ですが、女性の割合が低く121位と下位に位置しています。

全体の上位を占めているのが北欧諸国です。1位がアイスランド、2位がフィンランド、3位がノルウェーとなっています。この3ヶ国は、特に女性の政治参画が進んでおり、ノルウェーを除き、全て女性が首相です。ノルウェーも昨年までは、女性が首相を務め、閣僚の数についても、男性より女性の数が上回っている状況です。

また、日本はG7先進7か国中、最下位、お隣の韓国は99位、中国は102位と日本よりも上位です。

因みに、政治参画では、日本より下位の国には、イランやオマーンなどイスラム教徒の国々が多く、女性の社会参画に積極的でない国々が名を連ねています。全体の最下位はアフガニスタンでした。以上が「2022年版ジェンダー・ギャップ指数」を極々簡単に解説させて頂きました。

「アンコンシャス・バイアス」って何？

「アンコンシャス・バイアス (unconscious bias) のことをご存じですか。

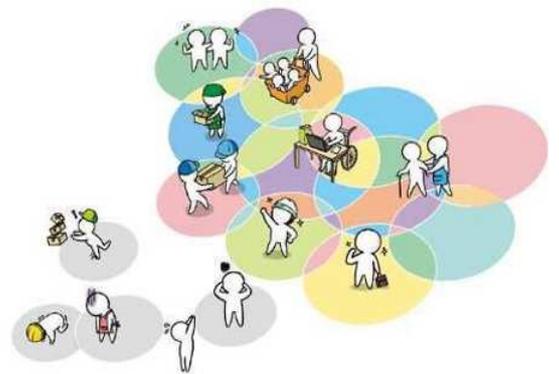
「アンコンシャス (unconscious) = 無意識」と「バイアス (bias) = 偏見」の二つの単語から構成されており、アンコンシャス・バイアスとは「無意識の偏見」「無意識の思い込み」という意味です。本人が気づいていない、偏ったものの見方や歪んだ認知のことを指し、多くは過去の経験や周囲の意見、日々接する情報から形成されます。

例えば、「血液型を聞いて、相手の性格を想像することがある」「親が単身赴任中と聞くと、まずは父親を思い浮かべる」「男性はパソコンに詳しい」「女性は家庭を優先する」など、皆さん思い浮かぶことはないでしょうか。アンコンシャス・バイアスは、誰にでもあって、あること自体が問題というわけではありません。過去の経験や、見聞きしたことに影響を受けて、自然に培われていくため、アンコンシャス・バイアスそのものに良し悪しはありません。

しかしながら、アンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、そこから生まれた言動が、知らず知らずのうちに、相手を傷つけたり、キャリアに影響を及ぼしたり、自分自身の可能性を狭めてしまうなど、様々な影響があるため、注意が必要です。

ここで、「“親が単身赴任中です”と聞くと、まずは「父親」を思い浮かべる」事例を考えてみましょう。

「まずは、父親を思い浮かべる」ということ自体に良し悪しはありません。ただし、「単身赴任という働き方を選択するのは、普通、父親だ」というアンコンシャス・バイアスに気づかずに、単身赴任の母親に対して「え？母親なのに単身赴任？お子さん、かわいそうね・・・」といった言動が、母親や家族を傷つけることになるかもしれません。また、性別で任せる仕事を決めつけてしまい、成長やキャリアに影響が及ぶとも限りません。アンコンシャス・バイアスから生まれる言動には、「普通そうだ」「こうあるべきだ」「どうせ無理だ」といった、決めつけや押し付けが挙げられます。どうか、今日からよく考えて行動してみてください。



相談無料:要予約

子育て女性の就職を応援



“る～ぶる”で

出張相談

毎月第4木曜日10:00～12:00

行橋市男女共同参画センター

〈予約・お問い合わせ先〉
子育て女性就職支援センター
093-533-6637

相談日の2日前までに申し込みください。

行橋市男女共同参画センターる～ぶる

〒824-0005

行橋市中央1-9-3 コスメイト行橋1階

TEL/FAX:0930-26-2232

E-mail:d-center@tea.ocn.ne.jp

開館時間 月～金曜日/午前8時30分から午後5時まで

*イベントの場合は、土・日・祝日も開館します

休館日 土・日曜日、祝日、

年末年始(12月29日～1月3日)

*研修室の利用について詳しくは、センターまで
ご相談ください

愛称の“る～ぶる”とは・・・

ループ(輪)とピープル(人々)をあわせた造語で、
人々が輪になって手をつなぎ、お互いが思いやりの
気持ちを持ち、明るいまちになるように、との願いが
こめられています

*る～ぶるのシンボルマークは・・・**



明日へ羽ばたこうとする蝶の羽の力強さに、人々
を重ねコスモスの花に拠点を表現。多くの人々が集
い交流を深め、様々な個性と能力が発揮できるよう
エンパワーメントし、男女共同参画社会づくりの大
切な拠点になるようにと願いを込めています。

開設1周年記念に公募により決まりました。

～行橋市男女共同参画センター講座案内～

◆ 市民企画講座 ◆

一般社団法人WハートK&M主催講座

★「みちあそび」ってなに!?行橋初「みちあそび」を
やってみよう!!

① 令和4年9月1日(木) 10:00～12:00

会場:行橋研修センター

② 令和4年10月8日(土) 13:00～15:00

会場:行橋市オートキャンプ場

講師:藤原浩美さん(With Wind 代表)

ゆくはし男女共同地域づくり実行委員会主催講座

★子どもの声を聴けていますか?アンコンシャス・
バイアスに気づこう!

令和5年2月19日(日) 14:00～16:00

講師:杉浦しのぶさん

(不登校保護者支援 えがおの会 代表)

会場:行橋中央公民館14号室

◆ 「ワーク・ライフ・バランスセミナー」 ◆

令和5年2月8日(水) 14:00～15:30

講師:太刀山美樹さん(株)MIKI・ファニット代表)

会場:リブリオ行橋けやきホール

★詳細は、市報又はホームページに掲載予定



行橋合同就職説明会(予定)

日時:10月23日(日) 13:00～15:30

会場:行橋商工会議所3階大研修室



2022年度

行橋市男女共同参画センターる〜ぶる情報紙



人々が手をつなぎ輪をつくるように・・・

る〜ぶる

vol.27

2022. 12

発行：行橋市男女共同参画センター



日本女性会議
2022 in 鳥取くらし

令和4年10月28日(金)から30日(日)の日程で、鳥取県倉吉市でコロナ禍の中、2年ぶり「日本女性会議2022in 鳥取くらし」が開催されました。全国各地から千人以上の方々が参加され、鳥取県立倉吉未来中心をメイン会場に“smile in くらし～だれもが共に笑顔になれる夢ある未来～”をテーマに分科会や全大会が行われました。私、る〜ぶるからも参加させて頂き、久しぶり対面での開催で大変有意義な3日間でした。

まず1日目は、分科会から始まり、7つの分科会が午前午後に分かれ、様々なテーマについて議論が行われました。私も2つの分科会に参加し、午前は「性(いのち)の権利を伝えたい」をカタチにするには～自分の心とからだを大切に～をテーマに、産婦人科医の遠見才希子さんによる講演等があり、今の性教育に対する課題や性教育に対する大人の思いが子どもたちへ与える影響について考えました。今の性教育のタブーを超えた大変ざっくばらんなお話で、幼いころから少年期に応じた性教育の重要性について大変熱く語って頂きました。

午後は女性活躍をテーマにした「女性が望む道を歩むためには」という分科会・パネルディスカッションに参加しました。この分科会は、パネリストに大山町(だいせんちょう)の女性町議会議員、自治会に女性参画を促すためクォーター制を導入したご夫婦、地元鳥取銀行の女性支店長や専業農家のご夫婦、そして鳥取大学医学部の女子学生など幅広い分野の方々が登壇し、自分の経験や生き様を通じて、女性が就きたい仕事や家庭、職場、地域でやりたいことにチャレンジでき、自分らしく生き生きと暮らせる社会を実現するには、と2時間に亘って、熱い議論が行われました。

(開会式)



(分科会)



(記念シンポジウム)

2日目の全大会は、オープニングに続き、開会式が行われ、地元の広田市長や鳥取県の平井知事の挨拶の後に、内閣府男女共同参画局の岡田恵子局長から「男女共同参画に関する最新状況」という内容の基調報告がありました。日本では、「政治分野」「経済分野」への女性参画が非常に遅れていることや、コロナの感染拡大による女性への影響が深刻であることなど、現状と課題が報告され、今後とも、国を挙げて取り組む必要性について説明がありました。

基調報告の後は、地元福岡県柳川市出身の大関琴奨菊、現在の秀ノ山親方と俳優でタレントの上地雄輔さんによる「未来に向けて若い世代への応援メッセージ」と題しての特別公演・トークショーがありました。二人は親友らしく、出会いから今日までの付き合いや、断髪式のこと、今日までの体験談など、多岐に亘って大変ユーモアあふれる素晴らしいトークショーでした。

午後からは、「弱者が弱者のまま尊重される社会とは？」をテーマに記念シンポジウムが開催されました。その後、閉会式が行われ日程を終了いたしました。

ところで、倉吉市を少しだけ紹介しますと、鳥取県中部に位置する人口4万5千人余りの市で、江戸時代は倉吉藩の城下町として栄え、今でも倉吉白壁土蔵群が保存され、城下町、陣屋町として栄えた風情ある町並みが残されております。酒蔵や町家・土蔵を改装したお店が立ち並び、大変素敵なしっとり落ち着いた町というイメージを持ちました。以上が、私のくらよし出張録でした。

(倉吉白壁土蔵)



(打吹山)



鳥取県の中心部にある倉吉市。倉吉(くらよし)という地名は「暮らしよし」の言葉からできたという説があります。当時の面影を残した古い歴史とポップカルチャーの新しい文化、豊かな自然に触れられる場所です。是非、みなさんも機会があったら訪れてみてください。

毎年11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」 期間です！



今年のテーマは「性暴力を、なくそう」です。女性に対する暴力の根絶に向けた国の取り組みを紹介します。

■女性に対する暴力をなくす運動

女性に対する暴力(配偶者等からの暴力、性犯罪・性暴力、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシャルハラスメントなど)は、重大な人権侵害であり、決して許されない行為です。

国は、女性に対する暴力の予防と根絶に向けて、地方公共団体、女性団体及びその他の関係団体との連携・協力のもと、毎年11月12日から25日までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」として様々な活動を実施しています。



■電話で相談するか迷われているあなたへ

性暴力に関するSNS相談Cure time (キュアタイム) では性暴力の悩みについてチャットで相談ができます。匿名で相談できます。

年齢・性別は問いません。プライバシーは守られますので、安心して相談してください。



全国のワンストップ支援センター一覧

URL <https://www.gender.go.jp/policy/no-violence/seibouryoku/consult.html>

性暴力に関するSNS相談Cure time (キュアタイム)

URL <https://curetime.jp/>

(内閣府「共同参画」2022年11月号より転載)

★令和4年度「女性に対する暴力をなくす運動」街頭啓発キャンペーンが11月15日(火)にJR小倉駅で行われ、私も参加しました。



「あなたが望まない性的な行為は、性暴力です」。性暴力は、性別を問わず、被害者の尊厳を著しく傷つける重大な人権侵害であり、決して許されるものではありません。「相手が望まない性的な行為は性暴力」という認識を社会全体に広げていくことが何よりも大切なことです。

相談無料:要予約

子育て女性の就職を応援



“る～ぶる”で

出張相談

毎月第4木曜日 10:00～12:00

行橋市男女共同参画センター

〈予約・お問い合わせ先〉
子育て女性就職支援センター
093-533-6637

相談日の2日前までに申し込みください。

行橋市男女共同参画センターる～ぶる

〒824-0005

行橋市中央1-9-3 コスメイト行橋1階

TEL/FAX:0930-26-2232

E-mail:d-center@tea.ocn.ne.jp

開館時間 月～金曜日/午前8時30分から午後5時まで

*イベントの場合は、土・日・祝日も開館します

休館日 土・日曜日、祝日、

年末年始(12月29日～1月3日)

*研修室の利用について詳しくは、センターまで
ご相談ください

愛称の“る～ぶる”とは・・・

ループ(輪)とピープル(人々)をあわせた造語で、人々が輪になって手をつなぎ、お互いが思いやりの気持ちを持ち、明るいまちになるように、との願いがこめられています

*る～ぶるのシンボルマークは・・・**



明日へ羽ばたこうとする蝶の羽の力強さに、人々を重ねコスモスの花に拠点を表現。多くの人々が集い交流を深め、様々な個性と能力が発揮できるようエンパワーメントし、男女共同参画社会づくりの大切な拠点になるようにと願いを込めています。

開設1周年記念に公募により決まりました。

～行橋市男女共同参画センター講座案内～

◆ 市民企画講座 ◆

ゆくはし男女共同地域づくり実行委員会主催講座

★子どもの声を聴いていますか？アンコンシャス・バイアスに気づこう！

令和5年2月19日(日) 14:00～16:00

講師：杉浦しのぶさん

(不登校保護者支援 えがおの会 代表)

会場：行橋中央公民館14号室

◆ る～ぶるエンパワーメント講座〈全3回連続講座〉 ◆

①リンパの仕組みと働き

～何のためにリンパはあるの～

令和5年2月17日(金) 10:00～12:00

②セルフリンパケア

～幸せボディの作り方～

令和5年2月24日(金) 10:00～12:00

③ボディリンパケア技術を学ぶ

～誰かを癒す技を学ぶ～

令和5年3月10日(金) 10:00～12:00

講師：丸尾陽実さん

(日本メディケアリンパ協会 理事長)

会場：行橋市男女共同参画センター

“る～ぶる”研修室

定員：15名程度(先着順)

参加費：無料

★詳細は、市報又はホームページに掲載予定





人々が手をつなぎ輪をつくるように・・・

る〜ぶる

vol.28
2023. 3

発行：行橋市男女共同参画センター

第18回る〜ぶるフェスタの開催が決定しました！

シェアしてつながるハッピーライフ： ～笑って対話、家庭も地域も～

コロナ禍の中、皆さん、いかがお過ごしでしょうか。コロナの感染拡大が続く中、行動制限は無くなったものの、マスク生活に不自由さを感じながら毎日の生活を過ごされているかと思えます。る〜ぶるでは、昨年に続き「第18回る〜ぶるフェスタ」を開催することといたしました。

行橋市の男女共同参画推進月間の6月10日(土)に、今年は場所を「コスメイトゆくはし」に移し、基調講演やステージイベント、マルシェ、また商工会議所駐車場にキッチンカーも出店し、大変賑やかな開催となります。入場は無料です。

今年の全体テーマは“シェアしてつながるハッピーライフ：～笑って対話、家庭も地域も～”と題しまして基調講演には、漫才師の中山まさともさんをお招きし、漫談を交えた「大切なのは、いたわり・愛」を題目に講演を予定しております。是非楽しみにして下さい。

また、オープニングには市内中学校吹奏楽部による演奏、ステージイベントには、今年もこの地域の高等学校ダンス部や子どもたちによる華やかな演技を予定しております。

どうぞご期待を！

手話通訳
あり



託児有
(予約制)

日時：令和5年6月10日(土)
10:00～15:00(開場 9:30)
会場：コスメイト行橋

《基調講演》

演題 「大切なのは、いたわり・愛」

講師 中山まさとも 氏

(漫才師、講演家、
オフィス星野トーン高知校代表)

～プロフィール～

1990年、漫才コンビ「ビッグアップル」としてデビュー。よしもとグランド花月シアター、テレビ、CMなどで活動。

1996年、相方の引退を機に、妻つかさと夫婦漫才コンビ「中山まさとも・つかさ」を結成。ほのぼのとした人当たりで「講演」「レポーター」「俳優」など様々な分野で活動。

大河ドラマ「龍馬伝」、フジテレビ「浅見光彦シリーズ」、NHKドラマ「川瀬」、映画「パーマント野ばら」などに出演。

★★プログラム★★

9:30～	開場
10:00～10:25	オープニング
10:30～10:55	開会行事
11:00～12:30	基調講演
13:00～15:00	ステージイベント
15:00	閉会

～ほかほかマルシェ&
ステージイベント同時開催～

2023年度(令和5年)

る～ぶるワーク・ライフ・バランスセミナーのご案内！

2023年度(令和5年度)は、6名の講師をお招きし、5月から7月、9月、11月、1月、3月の6回にわたり、**る～ぶるワーク・ライフ・バランスセミナー**を開催いたします。5月は西日本シティ銀行執行役員広報文化部長小湊真美さんをお招きし、『自分のキャリアについて考える～女性活躍について～』ご自分の体験などを踏まえての内容で、これからの自分自身の人生を生きる中で大変参考になるお話です。

7月は大川市にある若波酒造の製造統括、いわゆる「杜氏」、それも女性杜氏の若き今村友香さんによる『ピンチは何よりのストーリー』、様々な困難こそ、乗り越えたときに何よりのストーリーになるという男性社会での実体験を中心にお話をされます。どうぞご期待ください。そのほか、様々な分野でご活躍の講師をお招きしています。日時、テーマ等、決まり次第市報等でお知らせいたします。また会場は、いずれもコスメイト行橋「レクチャールーム」で、参加費無料です。

ここでは、5月、7月の講師の紹介をさせていただきます。

◇日時：2023年5月19日(金)15:00～16:30



講師：小湊 真美さん

西日本シティ銀行執行役員 広報文化部長

テーマ

『自分のキャリアについて考える』～女性の活躍について～

【プロフィール】

福岡市出身。西南学院大学商学部を卒業後1990年に旧福岡シティ銀行に入行。2011年5月に太宰府支店の支店長に。西日本シティ銀行では3人目の女性支店長に。2015年5月広報文化部長に就任。



◇日時：2023年7月21日(金)15:00～16:30

講師：今村 友香さん

若波酒造合名会社 製造統括「杜氏」

テーマ

『ピンチは何よりのストーリー』



【プロフィール】

大川市生まれ。2001(平成13)年に「若波酒造」に入社。2006(平成18)年に若波酒造8代目杜氏に就任。2008(平成20)年には純米酒「若波 縁(en)」が福岡国税局酒類鑑評会にて九州の女性杜氏として初の優秀賞を受賞。



3月8日は国際女性デーです。



「国際女性の日」は、国際婦人年である1975年3月8日に国連で提唱され、その後、1977年の国連総会で議決されました。日本では、3月8日に、男女共同参画担当大臣が、国連女性の日に寄せてメッセージを発出しています。また3月8日は、「ミモザの日」とも呼ばれ、黄色いミモザの花がシンボルとして親しまれています。

国際女性デーの成り立ち

1904年3月8日、ニューヨークで女性労働者が婦人参政権を要求してデモを起こしたことを起源とし、1910年のコペンハーゲンでの国際社会主義会議にて「女性の政治的自由と平等のために戦う日」と提唱したことから始まりました。

1975年に国連がこの日を国際女性日と定め、女性への差別撤廃と女性の地位向上を訴えています。イタリアでは、この日は「Festa Della Donna(フェスタ デラ ドンナ=女性の日)」とされ、男性が日ごろの感謝を込めて、母親や奥さん会社の同僚などにミモザを贈ります。このことから「ミモザの日」とも呼ばれるようになりました。



3月8日は国際女性デー | 女性の生き方を考える日

**HAPPY WOMAN
FESTA 2030**

**国際女性デーを通じて
ジェンダー平等社会の実現を**

2023年現在 24 都府県で開催
2030年までに全国での開催を目標としています。



相談無料:要予約

子育て女性の就職を応援



“る～ぶる”で

出張相談

毎月第4木曜日10:00～12:00

行橋市男女共同参画センター

<予約・お問合せ先>

子育て女性就職支援センター

TEL 093-533-6637

※相談日の2日前までにお申し込み下さい。

◆行橋市男女共同参画センターる～ぶる
〒824-0005
行橋市中央1-9-3 コスメイト行橋1階
TEL/FAX:0930-26-2232
E-mail:d-center@tea.ocn.ne.jp

開館時間 月～金曜日/午前8時30分から午後5時まで
*イベント開催の場合は、土・日、祝日も会館します。
休館日 土・日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)
*研修室のご利用について詳しくは、センターまで
お問合せ下さい。

愛称の“る～ぶる”とは・・・

ループ（輪）とピープル（人々）をあわせた造語で、
人々が輪になって手をつなぎ、お互いが思いやりの気
持ちを持ち、明るいまちになるように、との願いがこ
められています

*る～ぶるのシンボルマークは・・・**

明日へ羽ばたこうとする蝶の羽の力強さに、人々
を重ねコスモスの花に拠点を表現。多くの人々が集
い交流を深め、様々な個性と能力が発揮できるよう
エンパワーメントし、男女共同参画社会づくりの大
切な拠点になるようにと願いを込めています。
開設1周年記念に公募により決まりました。

～行橋市男女共同参画センター講座案内～

◆企画募集◆

市民企画講座（募集中）

男女共同参画社会の実現に関心を持ち、行橋
市で活動する団体およびグループが行う講座
を2企画募集。

*募集期間 6月1日～6月30日

◆就業支援講座◆

医療事務講座（全24回 60時間）

9月～11月（火・金）9:30～12:00

・受講料11,500円（予定）

・別途教材費・受験料15,000円（予定）

（医科3級医療事務技能検定試験3級）

*詳細は、7月15日号の市報に掲載予定

◆る～ぶる主催講座◆

「エンパワーメント講座」（予定）

9月からは、「わたし磨き講座」「パパ・ママ
子育て講座」「ワークライフバランスセミナー」など、様々な講座を予定しております。開
催日時等は、決まり次第、市報・ホームページ
に掲載します。

